

【CL名】 Aさん **【解答者】** アオちゃん **【作成日】** 2023年11月10日 **【作成時間】** 35分

設問

【問い1】 今ならどのような質問ができるか。

「元自信がない人間だと分かってるんですけど」と仰いました。それはどういったことでしょうか？
「上司にアピールしてきた」と仰いましたが、Aさんは上司にどのようにアピールしたのでしょうか？
「初めてメイン担当を任された」と何度も仰っていますが、改めて任されたことはどう思いましたか？
「自分の中で決めつけがあったのよ」と仰いましたが、どんな決めつけがあったのでしょうか？
「自分の成長につながったと実感できる部分もありはするが」というと、どんな成長につながったのでしょうか？
「同僚のことで諦められた」と人に言わしたり、と仰いましたが、そう言われた時はどう思っていましたか？

【問い2】 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例ⅠのCC18 (相応しい・相応しくない)

理由：相談者にとって新しいスキルや知識を身につけることはどういったことや自信とは何かについて内省を促すような関わりができ、信頼関係の構築できつつあるのが良かった点。

事例ⅡのCC19 (相応しい・相応しくない)

理由：相談者が研修会社で働かされている経緯や、今回の企画に際する仕事についてどう思っているか、また上司との関係性を伺う時間が足りなかったのが悪かった点。

【問い3】 クライアントの主訴

同期に取り残されて焦る中、初めてメイン担当を任せられ、このチャンスをつかいたくないと気合いを入れて取り組んだ。しかし、お客様に企画を受け入れてもらえず、たかさんの知識が相談者の自信につながっているのかと問われ、自信のなさを見透かされているような気分になった。周りの評価が気になり、「私は大丈夫」と言い聞かせるように、新しい知識やスキルで自信のない自分を補おうとしてきた。もと経験が必要だと頭では分かっているが、同期に追いつくがなと思う。

【問い4】 今後の展開 (どのように進めるか)

チャンスと思って取り組んだ企画が受け入れてもらえなかった相談者に寄り添いながら、引き続き信頼関係の構築に努める。お客様の問いかけにより重ねて自己効力感が下がっているように見受けられるため、相談者がこれまで身につけてきた知識やスキルを振り返り、自己効力感を向上させる。また、お客様とのお会いしないことや誘導する必要があるという発言から仕事理解不足の可能性があるので、上司に今回の企画の意見を求めたり、企画提案のミーティングの機会を提案する。これにより、相談者が自信を持って主体的に仕事に取り組めるよう支援する。